

科目名		文化と社会 (Culture and Society)							
学年	学科(コース)	単位数		必修/選択	授業形態	開講時期	総時間数		
第4学年	経営情報学科	学修	1単位	必修	講義	後期 100分/週	45時間		
担当教員		【非常勤】江波昌子 (【副担当】高橋正和)							
学習到達目標									
科目の到達目標レベル	<p>18世紀から20世紀にかけてのドイツ語圏における音楽と文学について、具体的な作品を鑑賞しながら、その歴史的な流れを理解することを目的とする。文化の多様性を認識しそれを尊重することの大切さを理解して、技術者として社会に貢献する自覚と素養を高める。</p> <p>1) 18世紀以降のドイツ文学史と音楽史の流れを理解できる。 2) ドイツの文学や音楽に親しんで、個々の作品を歴史の流れの中でとらえることができる。</p>								
学習・教育目標	(F)②③	JABEE基準1(2)		(a)					
関連科目, 教科書および補助教材									
関連科目									
教科書	適宜プリントを使用する								
補助教材等									
達成度評価 (%)									
評価方法 指標と評価割合	中間試験	期末・学年末試験	小テスト	レポート	口頭発表	成果品	ポートフォリオ	その他	合計
	総合評価割合	40	40		20				100
知識の基本的な理解 【知識・記憶、理解レベル】	◎	◎		○					
思考・推論・創造への適用力 【適用、分析レベル】	○	○		◎					
汎用的技能 【 】									
態度・志向性(人間力) 【 】									
総合的な学習経験と創造的思考力 【 】				○					
学習上の留意点および学習上の助言									
<p>西洋史の知識を必要とするが、授業の中でもあらためて学習する。 音楽や文学に対して関心を持って接することが重要である。 レポートの書き方や内容については厳しく評価する。</p>									

授業の明細

回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	ガイダンス はじめに	・シラバスから学習の意義、授業の進め方、評価方法を理解できる。 ・18世紀以前のドイツの歴史を理解する意義について学習する。	学習した内容を復習する。
2	16世紀のドイツの歴史	・16世紀のドイツの歴史について、その概要を理解することができる。	学習した内容を復習する。
3	17世紀のドイツの歴史	・17世紀のドイツの歴史について、その概要を把握できる。	学習した内容を復習する。
4	16～17世紀のドイツ語圏における芸術	・16～17世紀のドイツ語圏における音楽や文学についてその代表的な作品に触れ、具体的に学び知ることができる。	学習した内容を復習する。興味を持った作品に実際に触れてみる。
5	18世紀のドイツの歴史	・18世紀のドイツの歴史に関して、その概要を理解することができる。	学習した内容を復習する。
6	18世紀のドイツ語圏における音楽	・18世紀のドイツ語圏における音楽について、その代表的な作品に触れ、具体的に学び知ることができる。	学習した内容を復習する。興味を持った作品に実際に触れてみる。
7	18世紀のドイツ語圏における文学	・18世紀のドイツ語圏における文学について、その代表的な作品に触れ、具体的に学び知ることができる。	学習した内容を復習する。興味を持った作品に実際に触れてみる。
8	中間試験		
9	試験返却・解答解説 フランス革命とナポレオン	・試験問題の解説を通じて間違った箇所を理解できる。 ・ヨーロッパ中に大きな影響を及ぼしたフランス革命とナポレオンについて理解することができる。	学習した内容を復習する。
10	19世紀のドイツの歴史	・19世紀のドイツの歴史に関して、その概要を理解することができる。	学習した内容を復習する。
11	19世紀のドイツ語圏における音楽 I	・19世紀のドイツ語圏における音楽について、その代表的な作品に触れ、具体的に学び知ることができる。	学習した内容を復習する。興味を持った作品に実際に触れてみる。
12	19世紀のドイツ語圏における文学 I	・19世紀のドイツ語圏における文学についてその代表的な作品に触れ、具体的に学び知ることができる。	学習した内容を復習する。興味を持った作品に実際に触れてみる。
13	19世紀のドイツ語圏における音楽 II	・19世紀のドイツ語圏における音楽について、その代表的な作品に触れ、具体的に学び知ることができる。	学習した内容を復習する。興味を持った作品に実際に触れてみる。
14	19世紀のドイツ語圏における文学 II	・19世紀のドイツ語圏における文学について、その代表的な作品に触れ、具体的に学び知ることができる。	学習した内容を復習する。興味を持った作品に実際に触れてみる。
15	答案返却・解答解説 全体の学習事項のまとめ 授業改善アンケートの実施	・試験問題の解説を通じて間違った箇所を理解できる。	
総 授 業 時 間 数			45時間
講 義			25 時間
自学自習			20 時間